

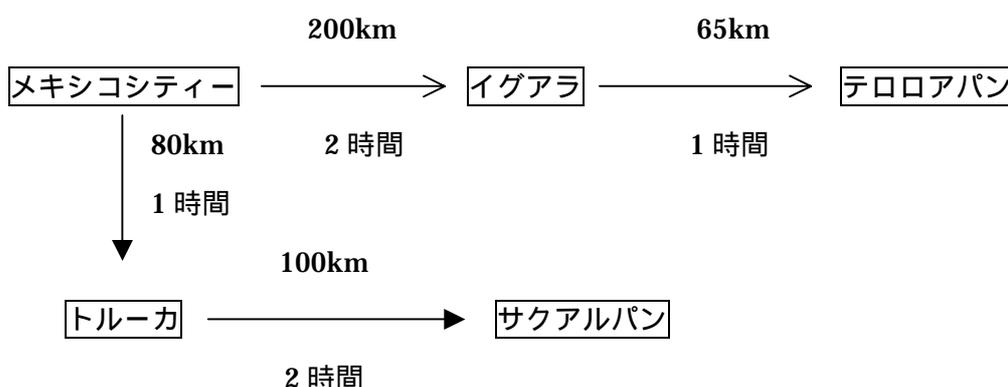
## 第2章 調査地域の地理

### 2 - 1 位置および交通

サクアルパン(Zacualpan)地域は、メキシコシティーの南西に位置し、ゲレロ(Guerrero)州及びメキシコ州に含まれる。調査地域内の主な集落は、サクアルパン、イスカテオパン(Ixcateopan)、イスカプサルコ(Ixcapuzalco)であり、調査地域からはずれるが、南にはテロロアパン(Teloloapan,人口 16,000)があり調査地域とその周辺では最大の集落である。調査のベースはテロロアパンとサクアルパンに置いた。調査地域内はこれら4町村の行政区画に分かれている。

メキシコシティーからテロロアパンへは、車両によりイグアラ(Iguala)を經由(高速道路)して約3時間で到達可能である。また、サクアルパンへはトルーカ(Toluca)を經由して約3時間で到達可能である。

経路図を次に示した。



テロロアパンからイスカプサルコへは国道51号線から分岐した舗装道路が通じている。また北東の地域外からサクアルパンまでと、東部の地域外からイスカテオパンまでは舗装道路が通じている。これ以外の調査地域内の道路状況は各集落を結ぶ未舗装道が発達している。しかしこれらは雨期に通行困難となるところが多い。

### 2 - 2 地形、気候および植生

調査地域はメキシコの地形学的(figiografic)分類では、シエラマドレ・デル・スル(Sierra Madre del Sur, Raisz 1959)に属する。また新期火山軸に近接した、バルサス(Balsas) - メスカラ(Mexcala)盆地のサブプロビンスに含まれる。

地形は北部で標高が高く急峻でV字谷が発達するが、南部程標高が低くなり地形もなだらかとなる傾向がある。標高は西端のスルテペック(Sultepec)川で700mと最も低く、最高はサクアルパン南方のセロ・テンタシオン(Cerro Tentación)で2,710mである。

水系はセロ・テンタシオンを分水嶺として3水系に分かれる。スルテペック川水系は地域

の約 6 割を占め、地域の西部で分水嶺から南西方向に向かって流下する河川を主とする。

ロス・サビナス (Los Sabinas) 川水系は、地域の南東を占め、南～南東に流下する河川を主とする。サンホセ (San Jose) 川水系は地域北東端で 1 割弱の面積を占める。分水嶺から東へ流下する河川を主とする。これら水系はいずれもバルサス川の支流を構成している。

気候的には熱帯～亜熱帯性であり、雨期は 6 月末～10 月、乾期は 11 月～5 月である。年平均降雨量は、1,100mm～1,400mm、平均気温は地区により異なるがサクアルパンでは 18 である。

植生は、標高の低い部分 (1,800m 以下) で、高さ 2m 程に成長する雑草が多くみられるが、部分的にトウモロコシ畑等の耕地となっている。高地では松、樅等の林がまばらに分布する。

### 2 - 3 基盤整備状況

調査のベースとしたテロロアパンでは、電気・通信・医療施設は完備されている。銀行は主要銀行 2 行があり、ガソリンスタンドも国道 51 号沿いに 3 箇所営業している。その他の地域内の集落では、電気と通信施設はあるが銀行・ガソリンスタンドは存在しない。通信施設は大きな集落以外でも、衛星通信電話施設が比較的多くみかけられ、また、携帯電話は、大部分の道路沿いや尾根部では利用可能である。

地域内の道路網の発達が良いが、ほとんどが未舗装道路であり、降雨時には通行困難となるところが多い。特に 7、8 月の雨期には主要な道路を除き道路が寸断される可能性が高い。